

## 「社会教育・生涯学習に関する市民意識調査」の結果（速報）について

### ◎ 趣旨

「社会教育・生涯学習に関する市民意識調査」の結果（速報）について説明するとともに、調査結果の分析や課題等について意見交換をするもの

#### 1 調査の目的

本市の社会教育・生涯学習の現状や市民のニーズを把握し、「第2次宇都宮市地域教育推進計画」及び「宇都宮市読書活動推進計画」改定における基礎資料とすることを目的として実施。

#### 2 調査項目

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| (1) 回答者の基本属性について | (2) 人づくり全般について    |
| (3) 生涯学習について     | (4) 家庭教育について      |
| (5) 地域のことについて    | (6) 読書活動・調べものについて |
| (7) 図書館について      |                   |

#### 3 調査対象

住民基本台帳に基づき、満20歳以上80歳未満の市民3,000人を年齢区分無作為に抽出

#### 4 調査方法

郵送によるアンケート方式（回答集計・分析については業務委託）

#### 5 調査期間

10月上旬から約1か月間（ただし、遅れ票待ちの期間を含む）

#### 6 回収結果（11月末時点）

有効回収数（率）1,092人（36.4%）

#### 7 今後の調査結果の分析について

計画の基本目標や基本指標に係る設問について、回答者の「年齢」、「家族構成」や「経験した地域活動の内容」等によりクロス集計を実施し、より詳細な市民意識の分析を実施していく。（※設問ごとの回答については別紙資料参照）

#### 8 今後のスケジュール

平成28年12月下旬～ 調査結果について分析（クロス集計など）

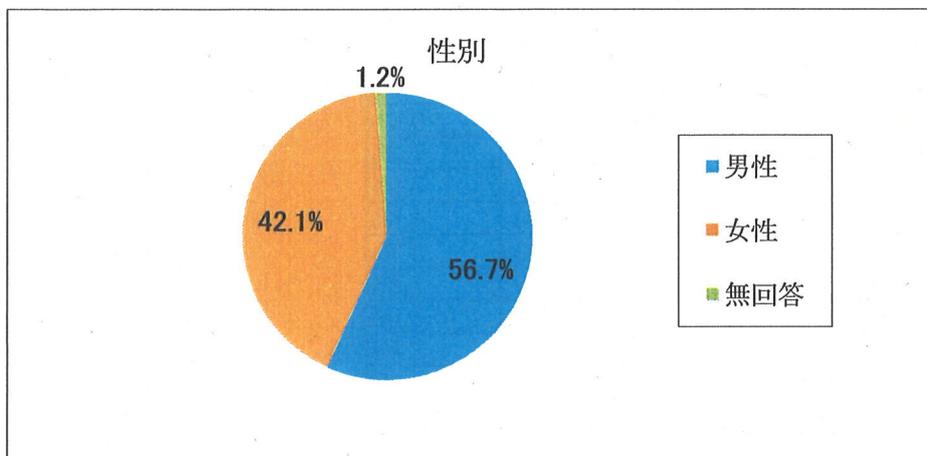
平成29年 2月中旬 結果報告書納品

◎「社会教育・生涯学習に関する市民意識調査」質問項目について

■ 人づくり全般について		
1		・実践できていることについて
2		・社会を生き抜くためには必要な力、今後身につけたい力について
■ 生涯学習について		
3-1		・現在の学習、文化・スポーツ活動について
3-2	新	・講座やサークル活動、学習に関する情報収集について
4-1		・生涯学習センターとの関わりについて
4-2	新	・生涯学習センターで実施される講座や利用方法のうち、利用したことや知っているものについて
5-1	新	・学んだことを活かした活動について
5-2	新	・学んだ成果をもとに活動するために、役立つことについて
6		・生涯学習センターについての希望や要望
■ 家庭教育について		
7-1		・現代社会における「家庭の教育力」の低下について
7-2		・現在の家庭教育で特に問題になっていることについて
8	新	・子どもを育てる上で親が特に心がけるべきことについて
9	新	・家庭教育を社会全体で支援していくために、今後重点を置いた方がいいものについて
■ 地域のことについて		
10		・地域の教育力は、子ども時代と比べてどのような状況にあるかについて
11		・地域の教育力が低下している原因について
12		・地域で子どもが健やかに育まれるようにするために、地域で特に力を入れるべきことについて
13		・地域の子どもと関わる活動への参加意欲について
14-1	新	・参加している（参加したことがある）地域活動について ・これから参加してみたい活動について
14-2	新	・主に地域活動をする場所について
15	新	・地域活動を始める（始めた）きっかけについて ・今後どんなきっかけがあれば地域活動を始めるかについて
16		・地域活動をする上で支障となるものについて
■ 読書活動・調べものについて		
17	新	・最近1年間の紙の本、電子書籍の読書について
18	新	・最近1年間の情報収集や情報検索について
■ 図書館について		
19	新	・最近1年間の図書館や図書室の利用について
20-1	新	・図書館や図書室を利用する主な目的について
20-2		・図書館や図書室を利用しない理由について
21		・図書館で行っているサービスの認知度について
22		・図書館への要望

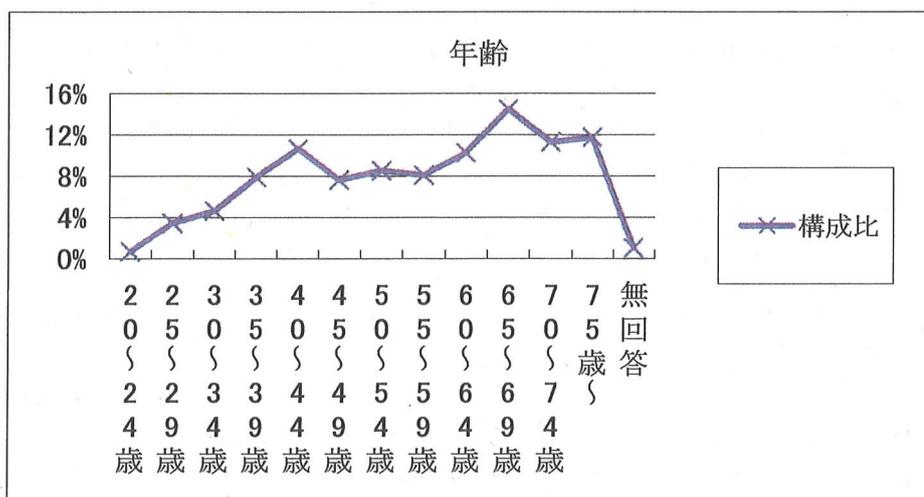
## 1 性別

項目	回答数	構成比
男性	619	56.7%
女性	460	42.1%
無回答	13	1.2%
合計	1,092	100.0%



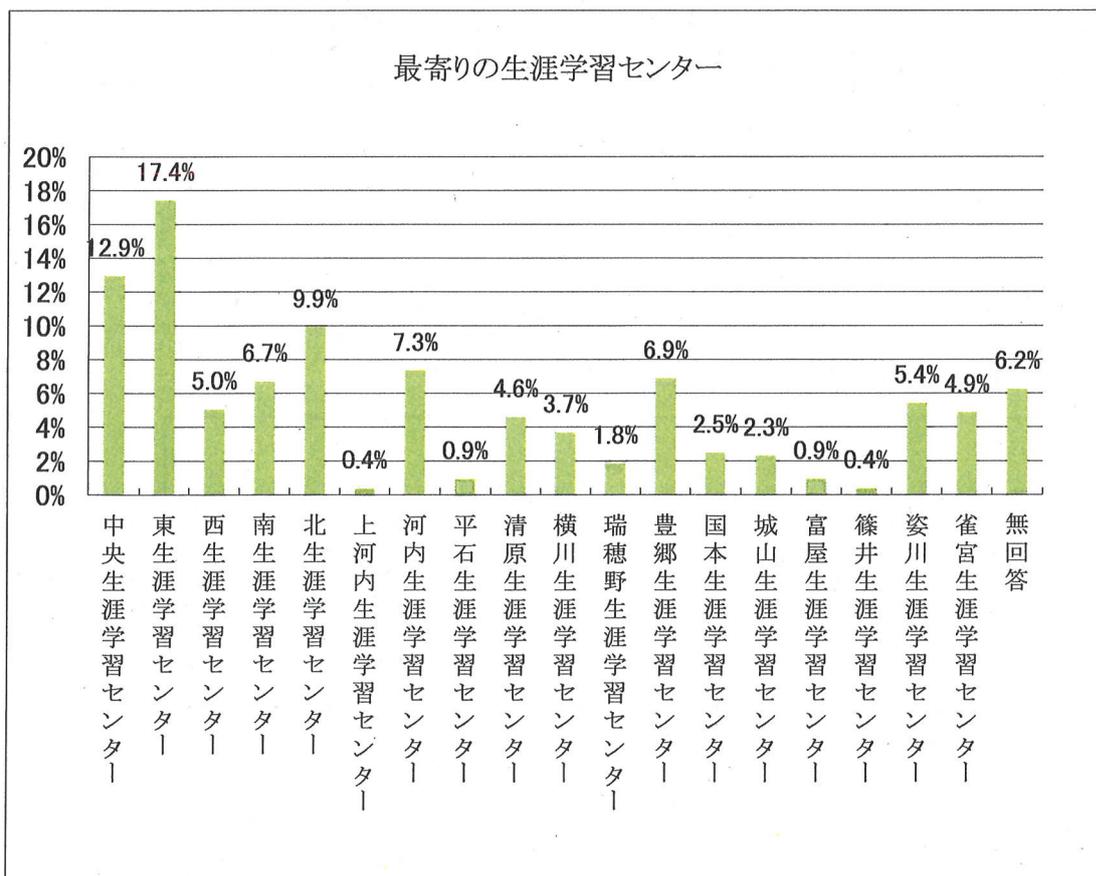
## 2 年齢

項目	回答数	構成比
20～24歳	7	0.6%
25～29歳	37	3.4%
30～34歳	50	4.6%
35～39歳	86	7.9%
40～44歳	116	10.6%
45～49歳	83	7.6%
50～54歳	93	8.5%
55～59歳	88	8.1%
60～64歳	112	10.3%
65～69歳	158	14.5%
70～74歳	123	11.3%
75歳～	128	11.7%
無回答	11	1.0%
合計	1,092	100.0%



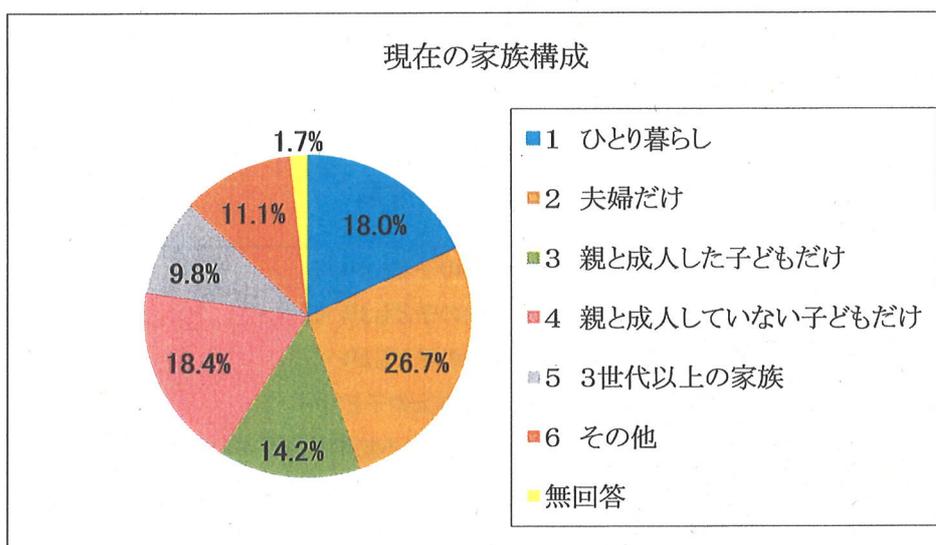
### 3 住所

項目	回答数	構成比
中央生涯学習センター	141	12.9%
東生涯学習センター	190	17.4%
西生涯学習センター	55	5.0%
南生涯学習センター	73	6.7%
北生涯学習センター	108	9.9%
上河内生涯学習センター	4	0.4%
河内生涯学習センター	80	7.3%
平石生涯学習センター	10	0.9%
清原生涯学習センター	50	4.6%
横川生涯学習センター	40	3.7%
瑞穂野生涯学習センター	20	1.8%
豊郷生涯学習センター	75	6.9%
国本生涯学習センター	27	2.5%
城山生涯学習センター	25	2.3%
富屋生涯学習センター	10	0.9%
篠井生涯学習センター	4	0.4%
姿川生涯学習センター	59	5.4%
雀宮生涯学習センター	53	4.9%
無回答	68	6.2%
合計	1,092	100.0%



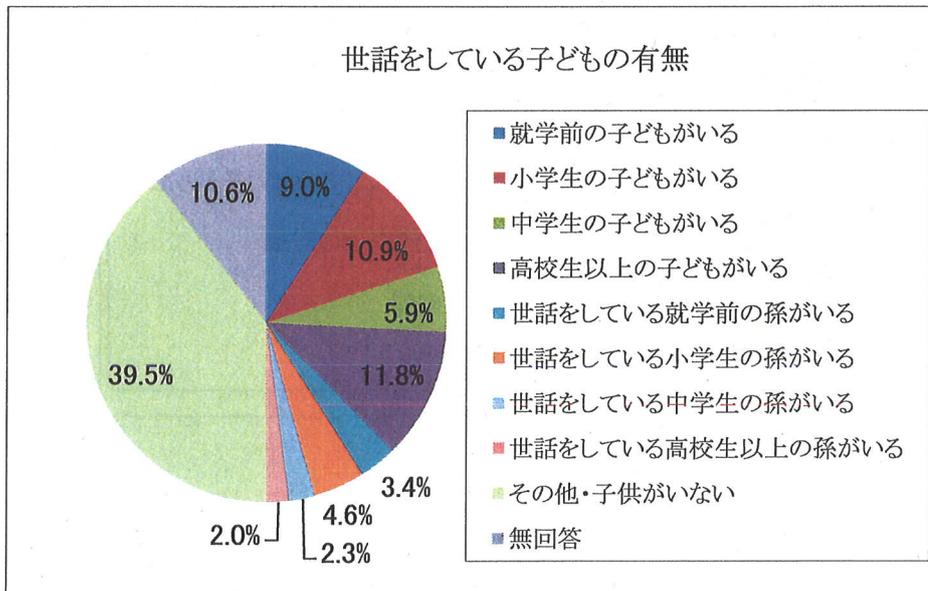
#### 4 現在の家族構成

項目	回答数	構成比
1 ひとり暮らし	197	18.0%
2 夫婦だけ	292	26.7%
3 親と成人した子どもだけ	155	14.2%
4 親と成人していない子どもだけ	201	18.4%
5 3世代以上の家族	107	9.8%
6 その他	121	11.1%
無回答	19	1.7%
合計	1,092	100.0%



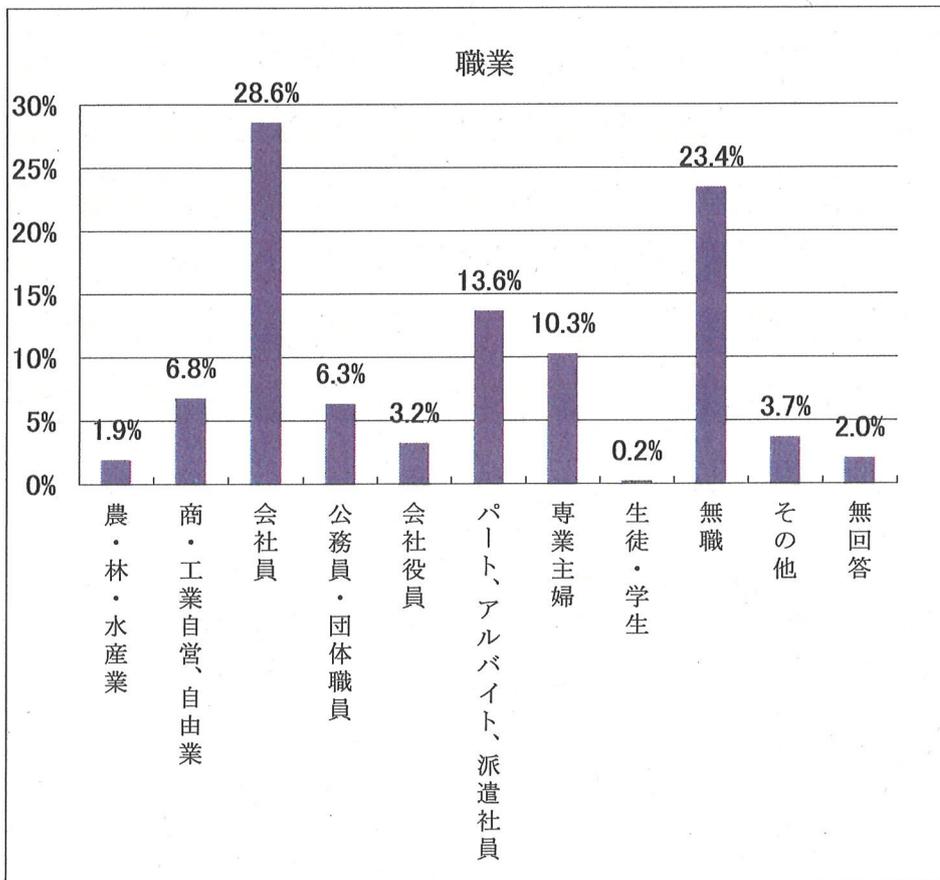
5 世話をしている子どもの有無

項目	回答数	構成比
就学前の子どもがいる	112	9.0%
小学生の子どもがいる	135	10.9%
中学生の子どもがいる	73	5.9%
高校生以上の子どもがいる	146	11.8%
世話をしている就学前の孫がい	42	3.4%
世話をしている小学生の孫がい	57	4.6%
世話をしている中学生の孫がい	29	2.3%
世話をしている高校生以上の孫	25	2.0%
その他・子供がいない	490	39.5%
無回答	131	10.6%
合計	1,240	100.0%



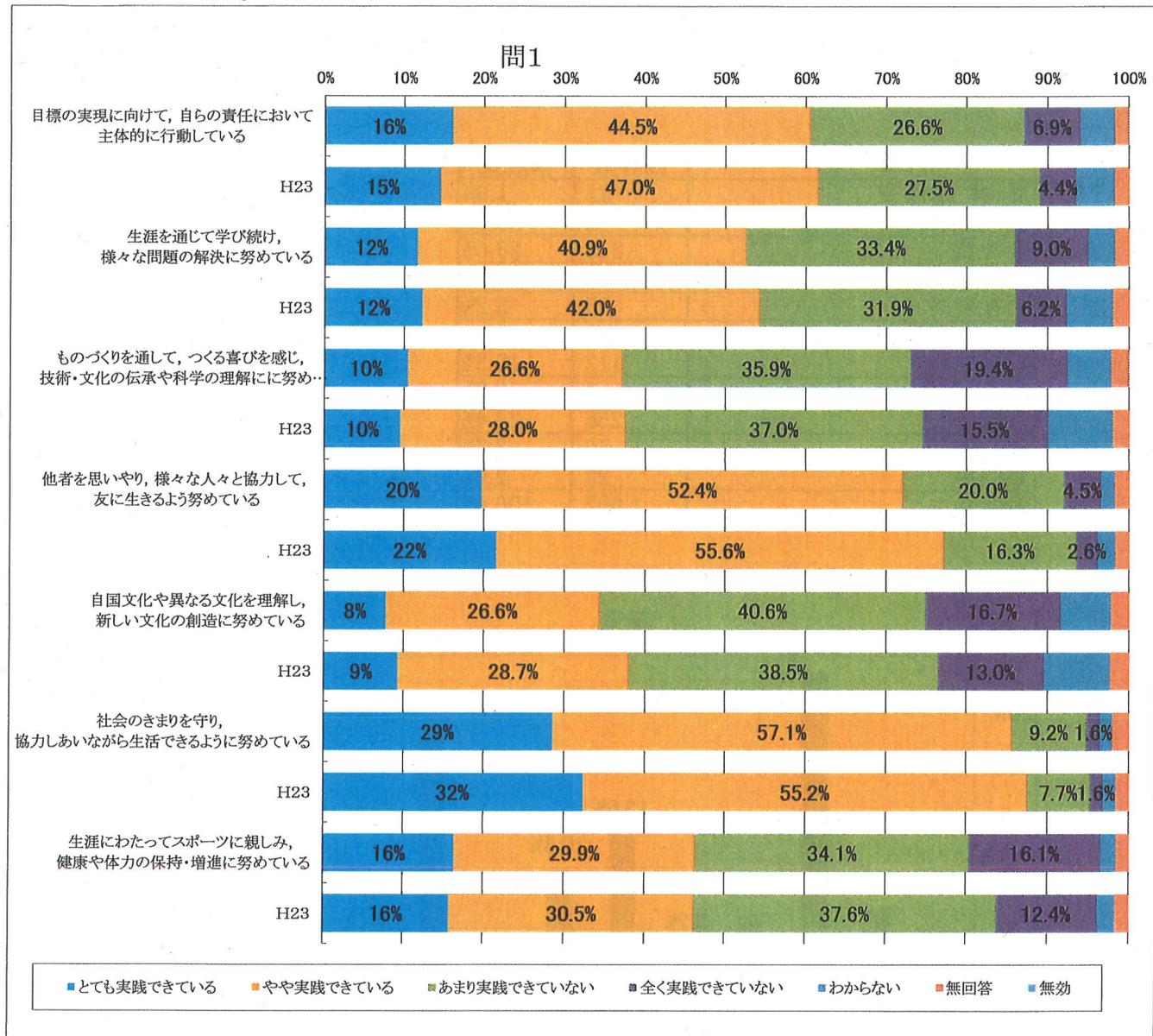
## 6 職業

項目	回答数	構成比
農・林・水産業	21	1.9%
商・工業自営、自由業	74	6.8%
会社員	312	28.6%
公務員・団体職員	69	6.3%
会社役員	35	3.2%
パート、アルバイト、派遣社員	149	13.6%
専業主婦	112	10.3%
生徒・学生	2	0.2%
無職	256	23.4%
その他	40	3.7%
無回答	22	2.0%
合計	1,092	100.0%



【問1】

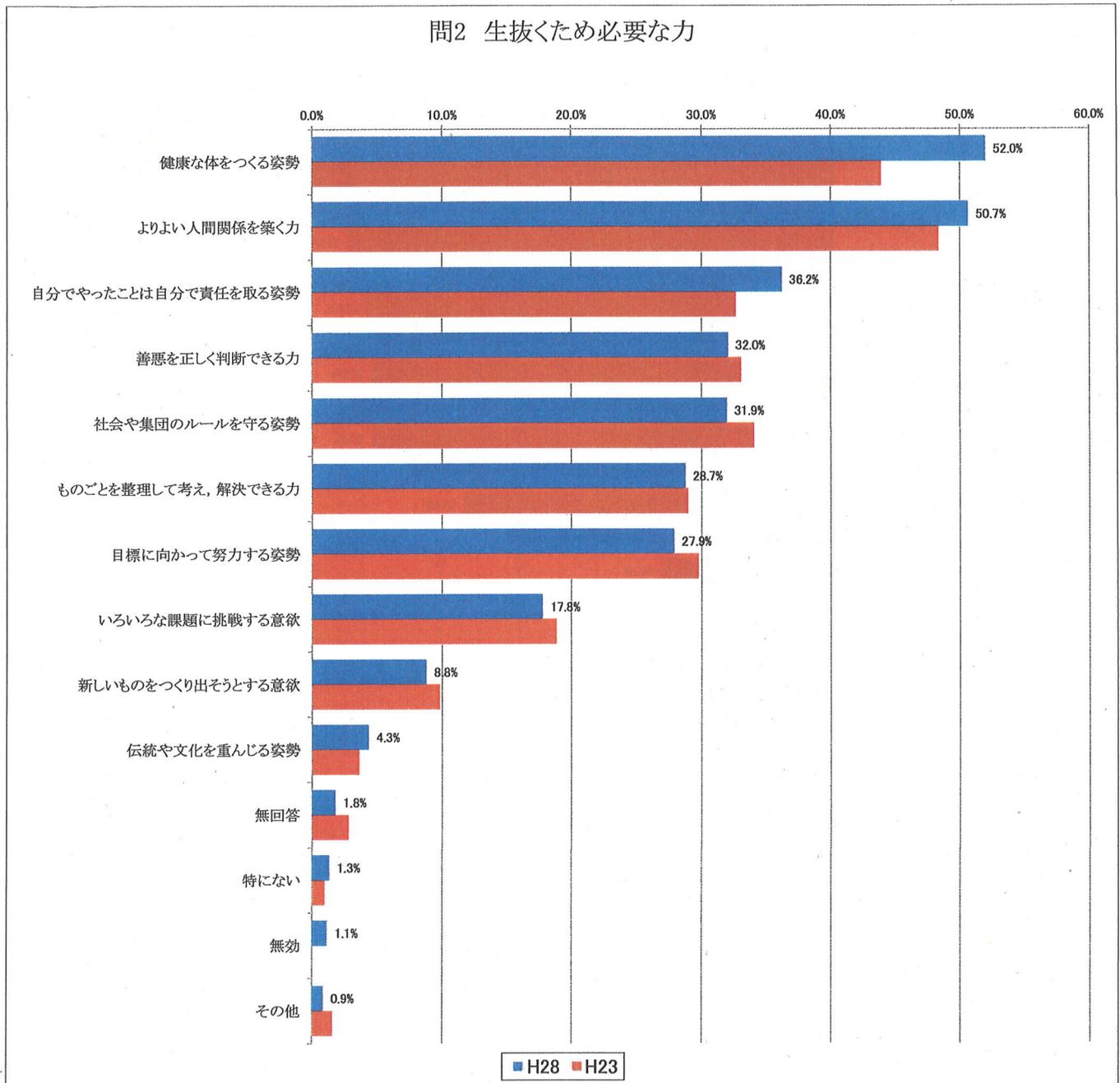
あなたは、次のことが実践できていると思いますか。1～7のそれぞれの項目について、あてはまる数字1つに○をつけてください。



- ・ 全ての項目において、前回とほぼ同様の割合となっている。
- ・ 「社会の決まりを守り、協力しあいながら生活できるように努めている」と答えた人の割合が最も高い。

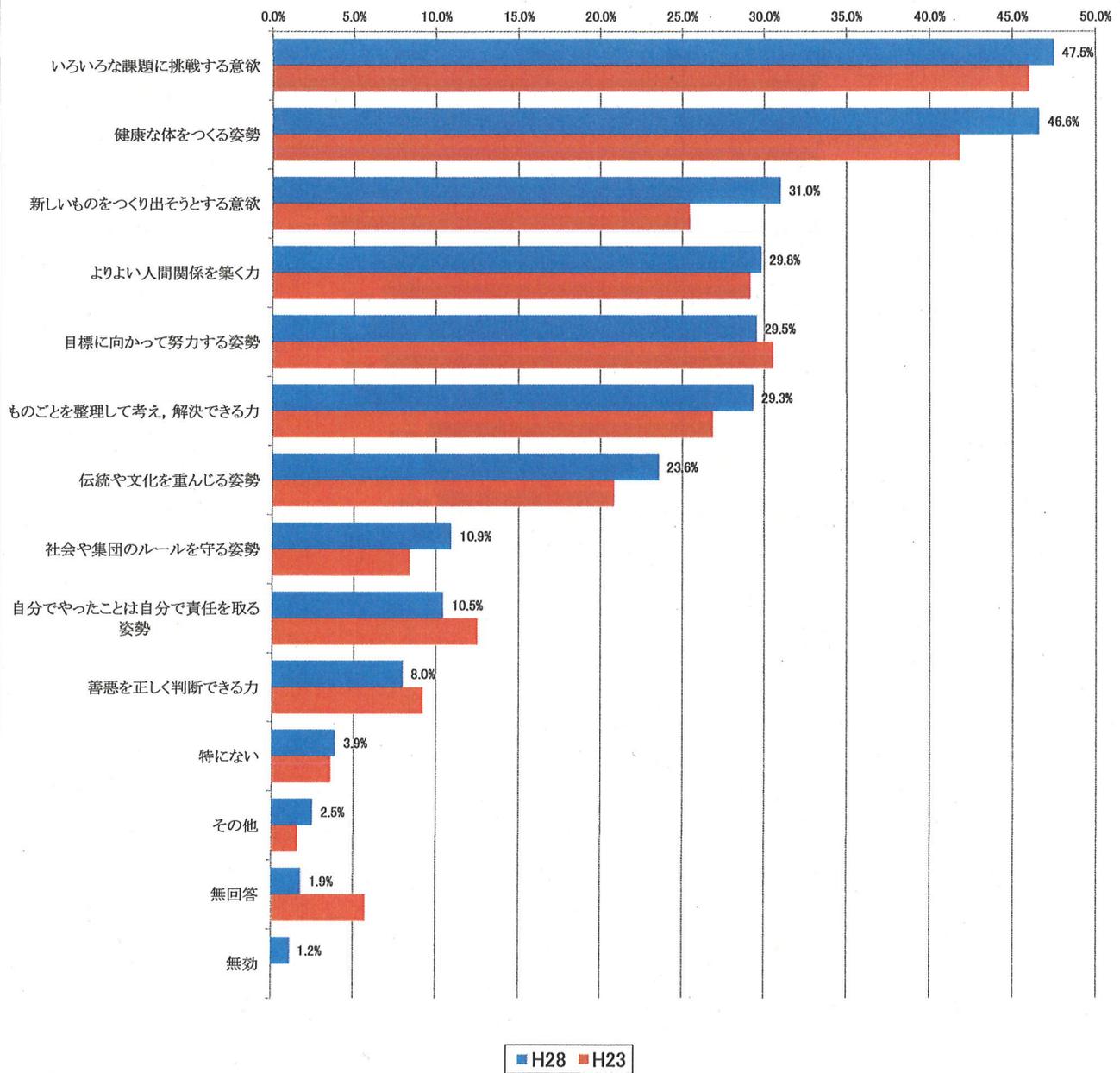
【問2】

これからの社会を生き抜くためには、どのような力が必要だと思いますか。また、あなたが、今後身につけたい力は何ですか。それぞれあてはまる数字を3つまで選んで○をつけてください。



・「健康な体」「よりよい人間力を築く力」が1位、2位であり、前回よりも数字が伸びており、半数以上が必要性を感じている。

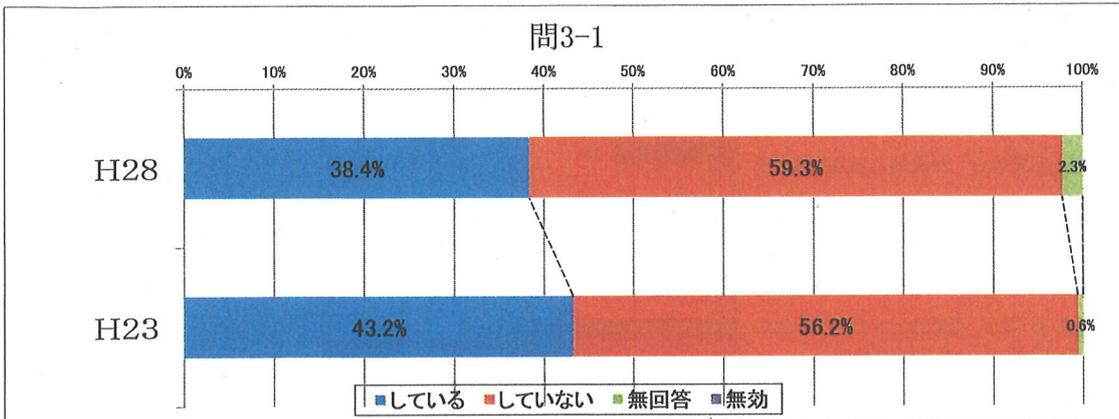
## 問2 今後身につけたい力



- ・ 前回調査同様、「いろいろな課題に挑戦する意欲」が一位となっている。
- ・ 課題や新たなことに取り組む意欲が、今後、重要だと感じている割合が高いことがうかがえる。

【問3-1】

あなたは現在、学習、文化・スポーツ活動をしていますか。あてはまる数字1つに○をつけてください。

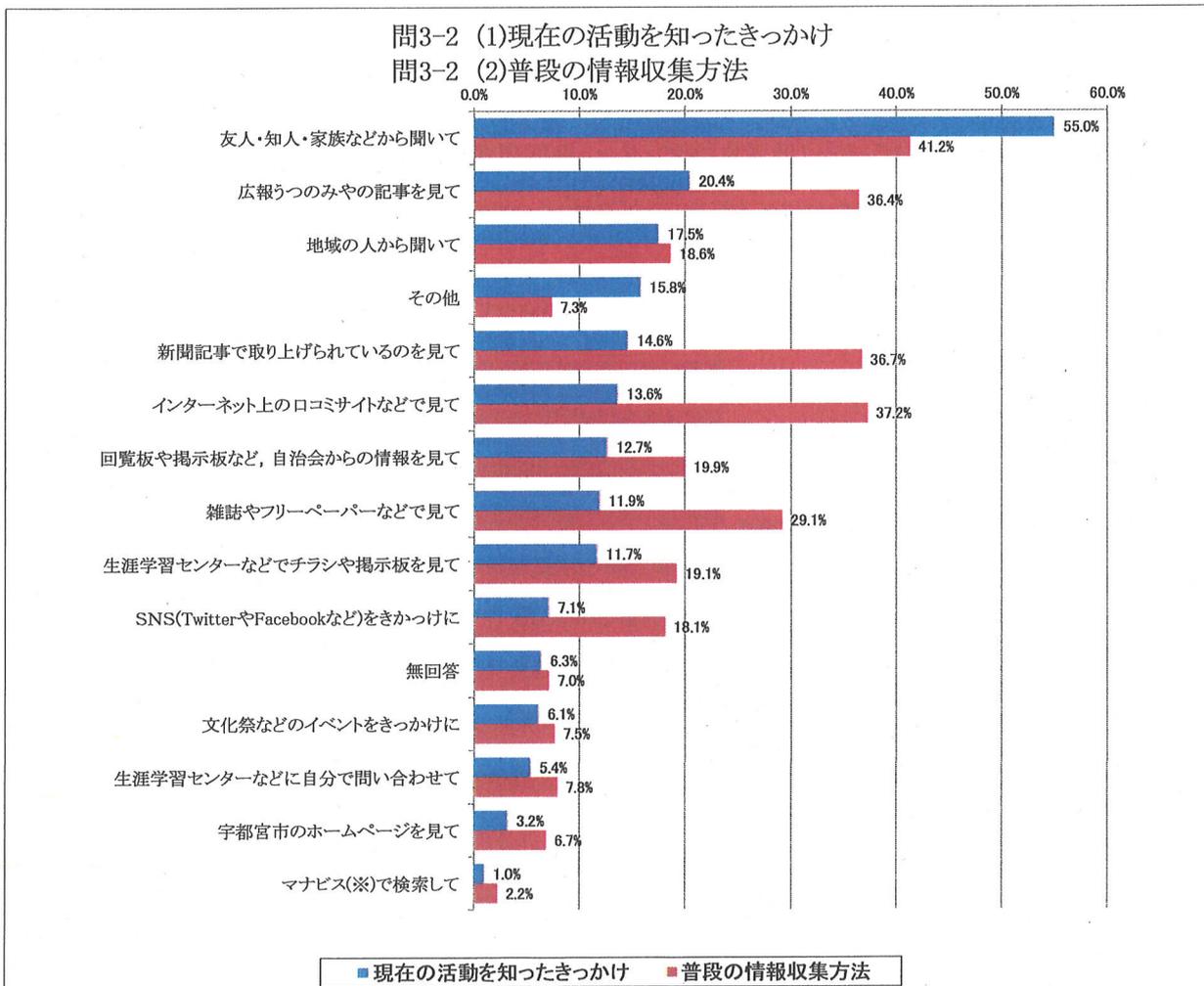


- ・ 前回調査に比べて、活動している人の割合が減少。
- ・ 国の調査においても同様の傾向  
⇒ 生涯学習をしたことがある 57.1% → 47.5%  
健康・スポーツ 30.4% → 21.0%, 趣味的なもの 25.7% → 18.8%

【問3-2】

問3-1で「学習、文化・スポーツ活動をしている」と答えた方におたずねします。

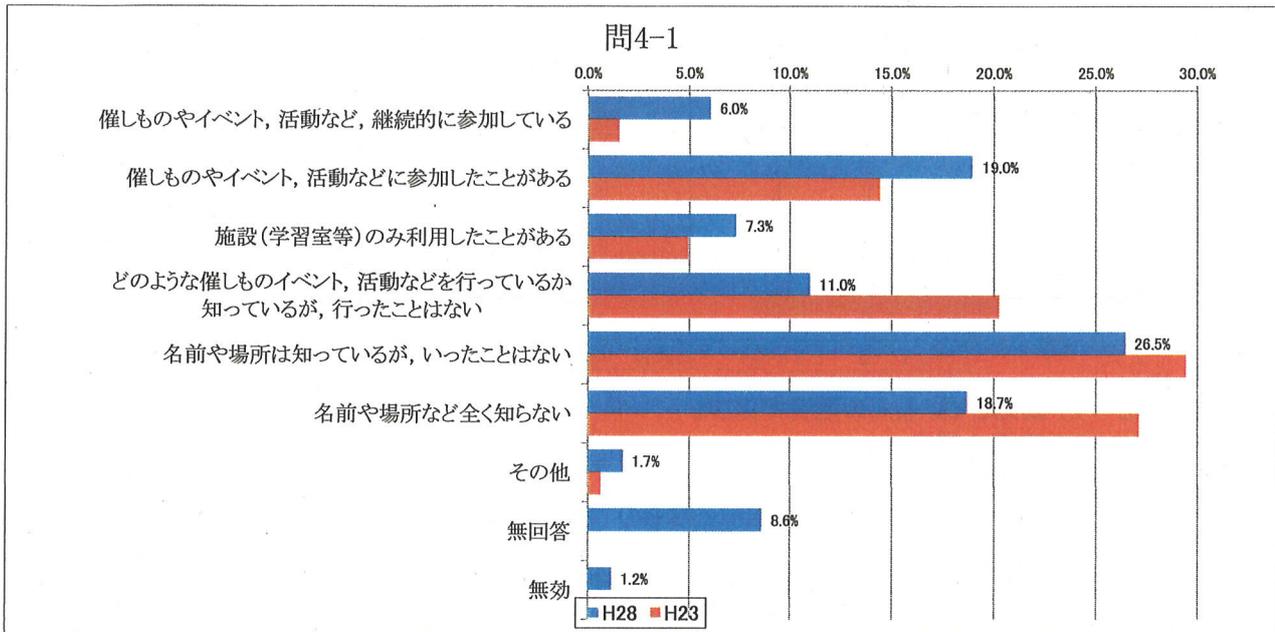
(1)あなたが現在受講している講座や参加しているサークル活動などは、どのような方法で知りましたか。また、(2)あなたは普段どのような方法で学びに関する情報収集をしていますか。あてはまる箇所すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)



- ・ 現在の活動を知ったきっかけは「友人・知人・家族などから聞いて」、「地域の人から聞いて」の割合が高く、学習等の活動につながるためには、身近な人からの誘いが最も有効であることがうかがえる。
- ・ 普段の情報収集方法については、「広報うつのみや」、「新聞記事」、「インターネット」、「雑誌」など、様々な方法で情報収集がされていることが分かる。

【問4-1】

あなたがお住まいの地域の生涯学習センター（地域自治センターや地区市民センター、市民活動センターに併設のところもあります。）について、あなたはどのくらい関わっていますか。あてはまる数字1つに○をつけてください。

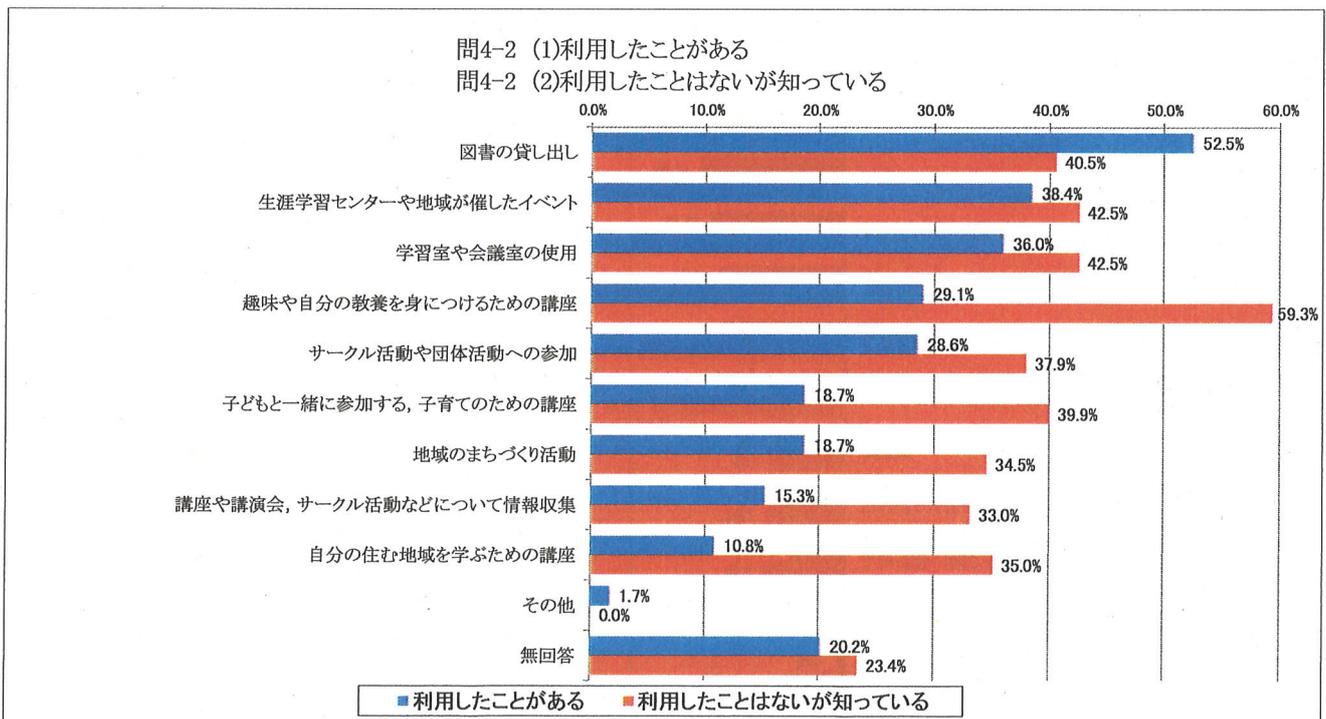


・ イベント参加や施設利用など、生涯学習センターを利用する人の割合は増加(計32.3%)しているが、全体としては3割程度の状況である。

【問4-2】

問4-1で1～4に○をつけた方にお尋ねします。

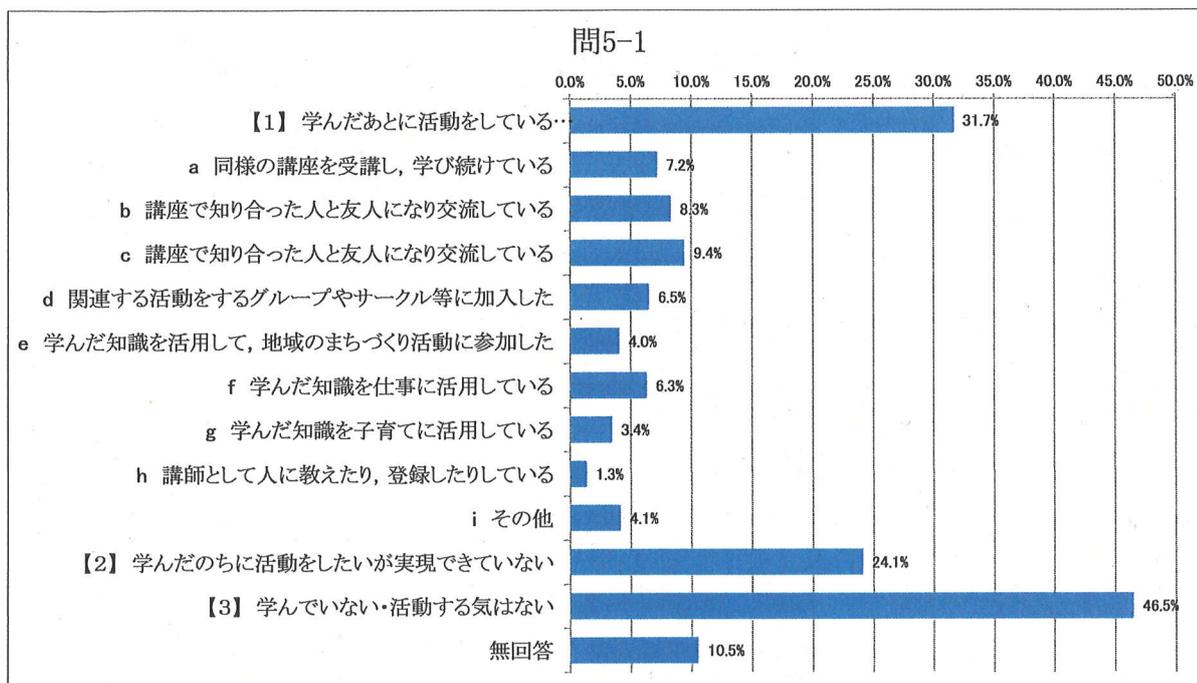
生涯学習センターでは、各種講座やサークルなどへの部屋の貸出、様々な情報提供を行っています。あなたがお住まいの地域の生涯学習センター（地域自治センター、地区市民センターに併設のところもあります。）で実施される講座や利用方法のうち、(1)あなた自身が利用したことがあるものや(2)知っているものについて、あてはまる箇所すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)



・ 生涯学習センターの利用については、「図書の貸し出し」が最も高い割合。  
 ・ 生涯学習センターで実施している各種講座等を「知っている」人の割合は、前回調査より高くなっている。  
 ⇒ 前回調査:内容を知らない、全く知らない 56.5%

【問5-1】

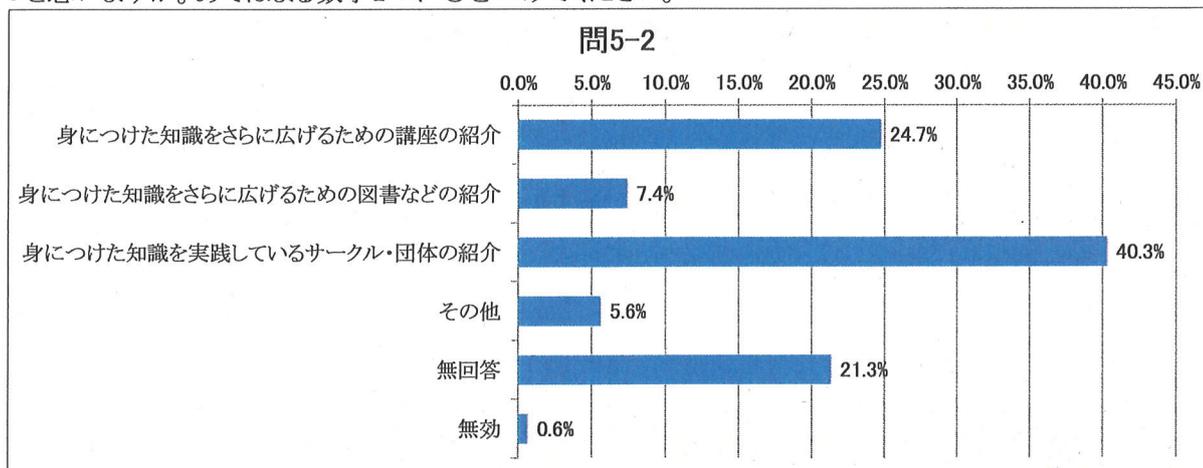
あなたはこれまで生涯学習センターや民間のカルチャースクールなどで学んだことを活かして、何か活動をしていますか。あてはまる数字に○をつけてください。



・学んだあとに活動につなげている人の割合は31.7%、活動を実現できていない人は24.1%であり、学んだ人のうち、約半数程度の人が、その後の活動への意欲があることがうかがえる。

【問5-2】

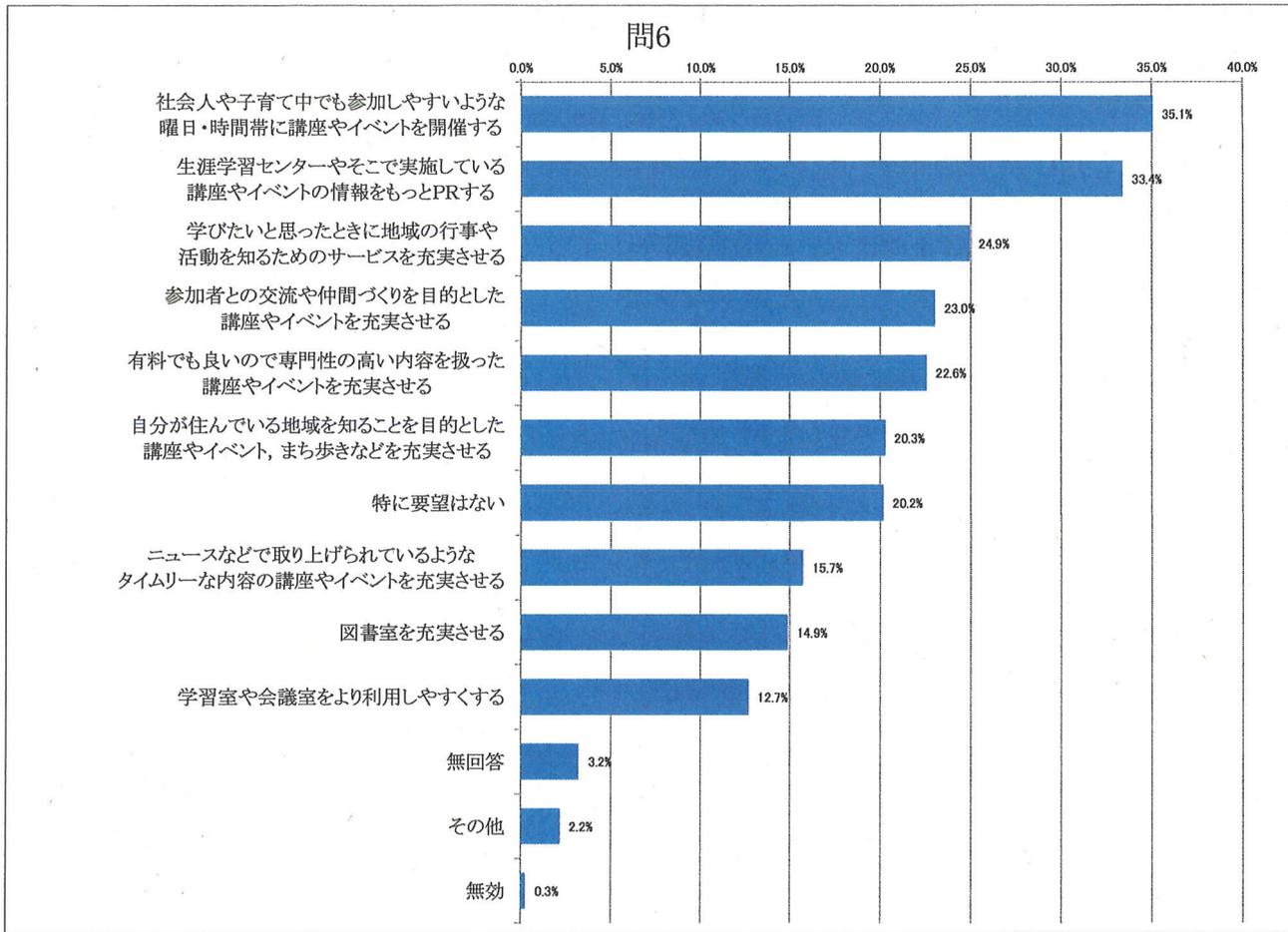
あなたが講座や習い事で学んだ成果をもとに活動するためには、どんなサービスが役立つと思いますか。あてはまる数字1つに○をつけてください。



・学んだ成果を活動につなげるためには、関連するサークルや団体の情報を提供することが有効であることがうかがえる。

【問6】

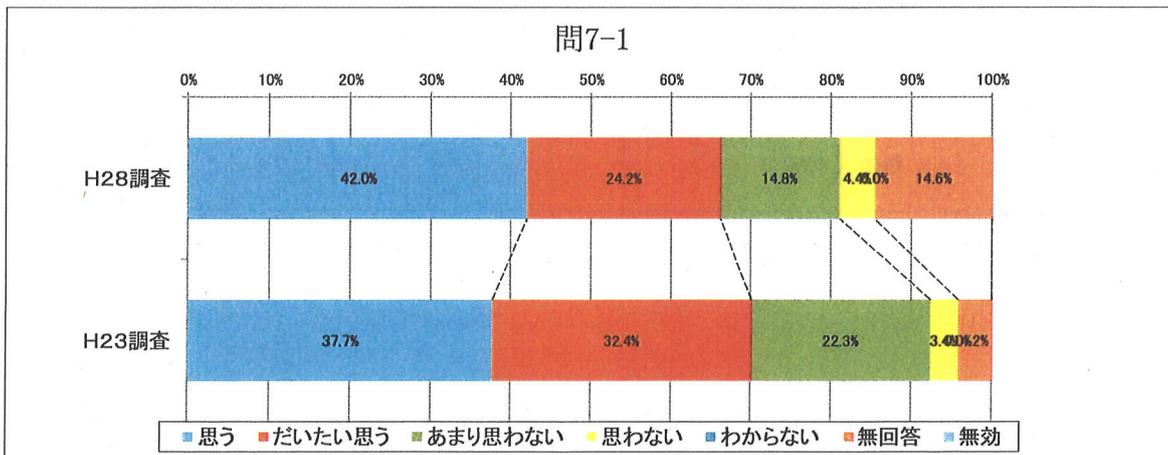
生涯学習センターについての希望や要望はありますか。あなたの考えに近い数字を3つまで選んで○をつけてください。



- ・ 講座に関する曜日や時間帯、情報のPRについての要望が高い割合。

【問7-1】

あなたは、現代社会における「家庭の教育力」が低下していると思いますか。あてはまる数字1つに○をつけてください。



- ・ 家庭教育の低下について、「思う」、「だいたい思う」と答えた人の割合が、半数を超えているものの、前回調査より低下している。